



第51号

平成30年3月31日発行

発行所

賀露地区公民館

印刷所

日ノ丸印刷KK

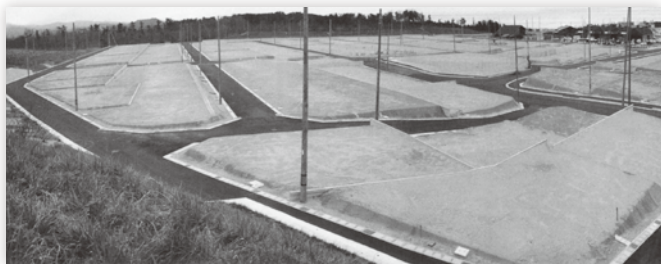
西浜分譲地完売債務の完済

※苦節二十年 あきらめない心を大切に

賀露町自治会 会長 深澤 修一

西浜土地区画整理事業は、組合が平成十一年に結成されてから、今年で二十年目を迎えます。ようやく分譲地完売、未入金回収、債務の完済で、組合解散手続きした。

を鳥取市に提出するに至りました。今ふりかえれば、西浜問題が自治会事業の大きな比重をしめ、早期解決のための模索がはじまりました。



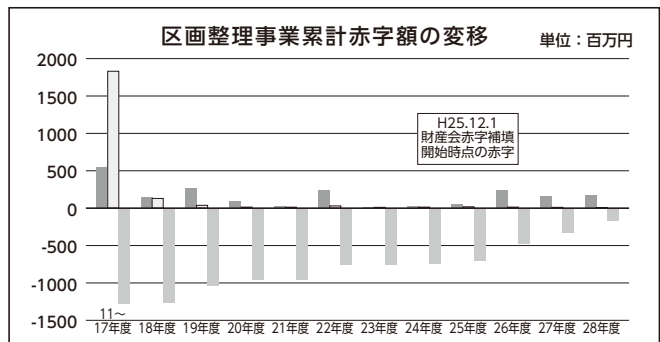
平成17年



平成30年

西浜区画整理事業 年度別収支 赤字額 単位：百万円

年 度	11~17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収 入	550	150	261	91	19	235	7	30	57	240	160	169
支 出	1,831	130	38	14	13	30	11	14	18	14	11	9
累計赤字	-1,281	-1,261	-1,038	-961	-955	-750	-754	-738	-699	-473	-324	-164
差 額	-1,281	20	223	77	6	205	-4	16	39	226	149	160



西浜検討委員会を設置し、答申を受ける中、自治会も西浜土地区画整理組合に協力し、双方協議会の中で具体的に活動してきました。また臨時代議員総会での決議で、早期販売のための土地価格の値下げと、差額補填を行ってきました。

苦節二十年、ようやくここまでたどりついたのは、町民皆様の理解の上での資金援助と「頑張れ、あきらめるな」の後押しではなかったかと思っています。

ひとえに、町民皆様のご協力に感謝しお礼申しあげます。

今後は最後まで、あきらめない心を大切に「支え合う」賀露町を目指して、前向きに、事業を展開していきたいと思っています。

「鳥取空港

開港五十周年」式典

賀露町自治会 会長 深澤 修一

鳥取砂丘コナン空港の開港から昨年で丁度半世紀が経過し、記念式典が行われました。

平井知事が、式典であいさつし、「昭和四十二年の開港以来、紆余曲折はあったが、大切なことは、地元理解をいただいたこと」と、地元自治体や住民の協力へ感謝の言葉を頂きました。

鳥取港へのアクセス道を整備する「ツインポート」化や、国内線ターミナルビルと国際会館を一体化する増床工事などの事業を紹介し、「これから皆様と盛り上げる時代をつくっていききたい」と述べられました。関係者が「くす玉」を割って五十周年を祝ったほか、空港運営に長年協力したとして、賀露町など周辺六地区の自治会長に知事より感謝状が贈呈されました。



鳥取空港式典

自治会

祝

県道鳥取空港賀露線開通式

鳥取空港と鳥取港。二つの港を直結する県道鳥取空港賀露線（愛称…かっこ空港ロード）の開通式が平成三十年三月十日に行われました。

午前十時に始まった「とりっこ広場」での開通式には、平井知事、深澤市長をはじめ、賀露町からは深澤自治会長、島谷県議、雲坂市議が来賓として出席しました。

テープカットでは、平井知事、深澤市長さんたちと並んで、賀露小学校の橋本留奈さんと湖山西小学校の船越彩花さんがハサミを入れ、深澤自治会長がくす玉割りに加わって綱を引きました。

午前十一時半にスタートした開通記念ウォーキング（鳥取港→空港一、五km往復）には、事前に



鳥取空港賀露線は、賀露町西3丁目の鳥取港と湖山町北4丁目の鳥取空港を結び、車での移動時間は3分となり、国道9号線を経由するルートと比べ、4分短縮となった。



参加者感想

どんな道路なのか歩いてみたかった。車でも走ってみたい。(小3 岡村吉朋)

信号がないから早く行けそう。飛行機も見えて景色がよかった。(小5 岡村吉陽)

応募した五百名余りの方が参加しましたが、賀露町からは、公民館行事で参加した小学生を含む、幼児から年配の方まで九十名余りの皆さんが、ウォーキング日和となった空の下、出来たてホヤホヤの道からの眺めを楽しみながら歩きました。



賀露町の人口・世帯数

世帯数 2,083戸
人口 5,145人
男 2,425人
女 2,720人

〈高齢化率〉

人口のうち65才以上の割合 (14%以上が高齢社会)

賀露町 27.17%

〈年少人口〉763人

人口のうち0～14才の割合

賀露町 14.82%

〈年代別人口〉

才	人	才	人
0～9	485	50～59	589
10～19	538	60～69	724
20～29	479	70～79	538
30～39	635	80～89	354
40～49	706	90～	97

平成29年12月31日現在 住民登録の集計より
これは市独自の集計であり、総務省の結果と異なることがあります

参加者感想

天候も良く絶好の日よりでした。山小屋周辺の草刈りをし、いい汗を流しました。100年先のことを考えて森林を大切にしていきたいと思いました。(1)

「森林教室」開催



「美しい海を育むのは源流から」をスローガンに上流域の森林整備を十月一日、緑の少年団（4年生）と町民四十名余りが、安蔵公園で実施しました。
草刈と森の大切さを勉強し、帰りの車中で学習したことを公民館職員によりクイズ形式で楽しむなど意義ある一日となりました。

まちづくり協議会

町民のための事業展開へ

協働のまちづくりに向けて「賀露地区コミュニティ計画」が作成され三年目となりました。

本年度、幅広く町民の皆さまのためとなる事業展開に向けて、各種団体が協議検討を重ね、四グループに分かれての事業を実施しました。

具体的には、古紙回収ボックスを環境リサイクル推進のため公民館敷地内に設置しました。近年、業者古紙回収ボックスに投函される方が増加したためです。

子どもと地域の大人が出会いふれあう機会づくりを目的に世代間交流「いっしょにあそばあや」を実施しました。老人クラブ等六団体の特徴を生かしたこの連携活動は、まちづくり協議会らしく新たな一歩となる事業になったと思います。その他に健康講演会、「賀露の魚はうまい・魚をさばいて食べるぞ」、桜の木植樹等を実施しました。

来年度も町民の皆さまのためになる活動を協議しながら推進していきたいと思えます。町民の皆さまの一人ひとりが、まちづくりの一員です。健康で明るく魅力あふれる「まちづく

り」をみんなでめざしていきたいよう。

平成二十九年 主な活動

・健康講演会「笑いと健康」

・古紙回収ボックス設置

・世代間交流

いっしょに

あそばあや

・子育て応援事業

・さかなをさばいてたべよう

・子育て講演会わらべコンサート

・子どもお楽しみ音楽会

・桜の木植樹(明神広場)



会長 深澤修一
事務局 公民館

いっしょにあそばあや ー世代間交流ー



ゲーム カローリング
(老人クラブ・子ども会・体育会)



ランチづくり(食育・健推)

湖東グリーンゾーン賀露支部

設立二十周年を迎えて

平成七年に「少年を非行と犯罪から守る湖東グリーンゾーン」が湖東中学校区に発足し、その二年後の平成九年に地域に根ざした活動を展開しようとの他の三地区に先駆けて地区公民館を事務局にした「賀露支部」が設立されました。

「あいさつ運動」を重点目標に自治会等の協力団体を巡回活動部・あいさつ運動部・地域研修部・情報交換部・広報活動部の五部会で構成し、活動を展

二十周年記念式典開催

平成二十九年十月十四日

あいさつ標語 最優秀作品

ー子どもの部ー

『あいさつで えがおふやそう
かろのみち』 おかだ よしき

ー一般の部ー

『あいさつに 笑顔添えて
つながる地域』 濱中千景

「すべての子どもの非行防止と健全育成を図る」をスローガンに掲げ活動する支部の取組が二十周年を迎え、地区体育館で盛大に記念式典を行いました。

式典では、地域の町民や子どもを対象に募集したあいさつ標語の表彰式や賀露小学校合

開してきました。現在では「声かけ運動」を重点目標に巡回活動部・あいさつ運動部・ふれあい活動部の三部会に集約し、活動しています。発足以来、巡回活動、あいさつ運動、小中学生対象の海岸清掃及び保護者会等を継続して実施しています。

設立当時に比べ、子ども達を取り巻く社会環境は大きく変化しました。価値観の多様化や情報化社会の急速な進展に加え、大型店舗の進出や遊興施設の増加、そして最近ではケータイ・スマホ依存症等が社会問題化しています。

そのような中、「地域の子ど

奏部の演奏が行われ、その後、鳥取城北高等学校校長石浦外喜義氏をお迎えし「弱くても勝てる 強くても負ける」という演題で講演会を行いました。

講演では、多くの力士や学生と触れ合い培われた豊富な経験の中から子どもとの関わり方の肝心要を話され、参加者はうなずきながらとても熱心に聴き、子どもの人格形成に親の果たすべき責任の重大さと、目標を持ち努力することの大切さを改めて理解する記念すべき講演会となりました。

支部が組成された二十年前と違って、社会環境の変化は著しく、今日子どもをめぐる環境

もは地域で守り育てる」という基本理念は一貫して変わることとはありません。「継続は力なり」今後とも、グリーンゾーン活動にご理解とご協力をお願い致します。(顧問 石黒 智)



平成9年
講演会の様子



あいさつ啓発看板設置



(会長 山根一記)

民生児童委員協議会

ともに生きる地域社会を

平成二十九年度は全員が新人という中で、様々な研修を積み重ね、ようやく一年が経過しました。

私たちは地域のひとり暮らし高齢者や障がい者、貧困状態にある子どもやその家族、引きこもりなど生活に困窮されているお宅の悩みや相談をお聞きし、ご相談者の立場で、行政とのパイプ役をしております。様々な生活困難関連のご相談をお寄せ下さい。

(会長 片山芳實)

《平成二十九年 度 主 な 活 動》

- 定例会(月一回)
- 高齢者介護施設等訪問研修
- 県・市民児協研修・大会参加
- 他地区民児協との交流会
- 湖東ブロック各学校と民生委員・児童委員との連絡会
- 地区社会福祉協議会事業協力
- まちづくり協議会・湖東グリーンゾーン事業協力、小学校・中学校・保育園行事出席、赤い羽根共同募金活動等

《平成二十九年 度 役 員》

- 一区 濱下 美子
- 二区・三区 ○大黒 進
- 四区 宮本 清
- 五区 ▼田中 元美



民生児童委員協議会メンバー

六区 網本 孝子
七区 ◎片山 芳實
八区 福本 規子
上浜区 小林 真紀

主任児童委員 今嶋 三郎
※注 ◎会長○副会長▽会計

あいさつ運動をとおして

朝、小学校の前で登校してくる子どもたちに「おはよう!」と声をかけています。

表情を変えないで通り過ぎる子から、元気一杯に「おはようございませう!」と挨拶を返してくれる子まで、その反応は様々です。一年を過ぎた今頃は、子ども一人一人の変わりようも見られ、嬉しくなることもたくさんあります。

校長先生も毎日挨拶をされているので、時々お話を伺ったりしながら、子ども達の事(特によさ)をつかもうとしているところです。(今嶋三郎)

社会福祉協議会

規約改正及び新役員について

平成六年以来の一部規約改正を行い、新理事、新評議員を選出し、役員選考委員会での新役員候補者選出を行い、平成三十年一月三十日臨時評議員会で、新会長、副会長四名、常務委員二名、監事二名の新役員が、承認されました。

前会長の金田会長は、平成九年から二十一年間会長職を長年に渡り務めていただき感謝をしています。

湖東会(湖東中校区保護司会)

明るい地域社会を目指して

昨年から湖東会活動報告を本広報に掲載して頂いています。昨年と同様、最初に保護司について説明させて頂きます。

保護司とは、非行のある青少年や犯罪を犯した人の立ち直りや社会復帰を地域で支えるボランティアです。法務省管轄の鳥取保護観察所の主導の下で活動しています。又、非行・犯罪の予防活動も行っています。

湖東会は湖東中校区(賀露・湖山西・湖山・末恒・千代水)の保護司十三名の集まりで主に非行・犯罪防止の活動を行って

新役員体制で賀露地区社会福祉協議会事業を取り組みますので、町民の皆様のご協力とご理解を、お願いいたします。

(会長 芥島寿美)

《平成三十・三十一年度 役 員》

- 会長 芥島寿美
- 副会長 石黒郁子・山根滋子
- 雁津敏明
- 泡田秀美
- (常務委員兼任事務局長)
- 会 計 松田順子(常務委員)
- 監 事 浜下美子・小谷 拓
- 理 事 石黒正男・石黒督清
- 加納恵子・浜本 進
- 廣島雄二・網田喜一

います。

賀露地区での今年度の活動としては昨年とはほぼ同様に、①湖東グリーンゾーン賀露支部の一員として賀露小学校、湖東中学校生徒への朝のあいさつ運動、②鳥取保護観察所からの依頼で、賀露海岸清掃活動を四月から十月にかけ四回にわたり保護観察対象者を参加させて行っています。

他に、湖東中校区としての活動では、①月一回の湖東中校門でのあいさつ運動、②湖山西小学校六年生対象の「寺子屋」(春・夏・冬の各休みでの鳥大生による学習支援、③地域小学校や湖東中学校の各行事参加、④湖東中評議員参画、⑤青少年

理 事 西村節子・辻井 清

藤田崇志・中嶋康登
大黒 進・雁津敏明
古網文子・山根滋子



新執行役員

の非行防止を目的とした事例研究会を湖南学園で開催(昨年は賀露小学校区で実施)、⑥民生児童委員等の地域関係機関との交流会、等を行っています。

今年度の活動は以上の様なものですが、賀露地区公民館や賀露自治会での様々な地域活動との連携はまだまだ不十分だと感じています。賀露地区の諸団体と一緒に青少年の非行防止・犯罪防止を目指した活動を進めて行きたいと考えています。(文責 景山 隆)

賀露地区保護司

- 雁津敏明 七区
- 景山 隆 三区
- 千代水地区保護司
- 平木孝夫 晩稲



老人クラブ

クラブ活動にご参加を!

賀露町の人口は、五、一四五人の内、六十五歳以上が一、三九八人、高齢化率二十七%で賀露町は高齢化社会となるそうです。

老人会の会員数は現在二四〇人(二単老の脱退)ですが、こうした現状ではとても人気があるといえません。

しかし楽しい事も多くあります。どうか良い所を見つけて老人クラブ活動に参加して下さい。

老人クラブは、左記のような役割があり、地域から期待されています。

・まちづくり協議会の構成団体
・社会福祉協議会の評議委員
・人権啓発推進協議会の協力員
・公民館運営委員会の委員

老人クラブの活動内容は、高齢者の自主的な組織で総意により小グループで活動しています。①生きがいと健康づくり、生活(心身)を豊かにする楽しい活動を行う。健康学習、体操、散歩、シニアスポーツなど、趣味、文化、芸能などのサークル活動、旅行などのレクリエーション活動②長年の知識や経験を生かして他の団体とも共

同し、地域を豊かにする社会活動に取り組む。地域支え合い友愛活動・文化伝統芸能など伝承活動・子ども、青、壮年等世代交流・社会生活等について提案、提言など③明るく健康な長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めること。以上、このような事に向かって活動しています。ぜひご参加を。

(会長 岸下喜八郎)

平成二十九年 主な活動

・老人クラブ総会	四月
・役員研修旅行	五月
・公民館周辺清掃	五・十月
・地区G・G大会	六・十月
・健康講演会	七月
・海岸清掃	七月
・女性・若手研修旅行	十月
・会員交流会(レク)	十月
・世代間交流スポーツ大会(共)	十一月

平成二十九年 役員

会長	岸下喜八郎
副会長	島谷関雄 網浜忠生
理事	岡村吉明 中村直義
	加納和枝 中野多津子



役員研修旅行(姫路城)

防犯協議会

詐欺に気をつけよう

昨今、多岐にわたる犯罪行為や振込詐欺・還付金詐欺、ネット利用での架空請求などの被害報告が鳥取県内でも後を絶ちません。防犯協議会では、犯罪から町民の皆さんを未然に防ぐ為に巡回パトロールを始め様々な活動を行っています。

各区役員に依る町内夜警パトロールでは真夏の熱い中実施。また湖東グリーンゾーンとの共催活動では、あいさつ運動のほり旗設置、立哨や他団体と合

同の町内巡回を行いました。巡回活動を通して感じることは自分達の子どもの頃とは時代が変わったな...と思うことです。大人も子どもも外や公園で集っていた昔とは違い、巡回中に誰にも会わないこともあるからです。



とはいえ、防犯活動が続けることが事件・事故抑止や犯罪を事前に防ぐ効果があると思っています。

ATMへの誘導を受けたり、電話や二セメールによる架空請求など不安を感じたら迷わずに
警察総合相談電話#9110
鳥取県警27-9110
へご連絡下さい。

本年も安心安全で住みよい賀露町へ皆様のご協力をお願いいたします。(文責 川上賢一)

平成二十九年 役員

会長	川上 賢一
副会長	宮本敏明
会計	植木嘉朗



環境部

きれいな住環境の実現に向けて

今年度も、恒例となっている春と秋の町内一斉清掃、夏には海岸と湖山川河岸の清掃が行われました。夏の清掃を行った七月十六日(日)は、朝から真夏のきびしい日差しの中、多くの方のご参加がありました。

燃えるものと燃えないものに分別しながらゴミを回収し、とてもきれいになりました。参加されたみなさんは大変熱心に清掃され、郷土を大切にすることが持ちや環境美化に対する意

識の高さに感動しました。

また、自主事業として環境学習を行いました。「資源リサイクル施設」や「自然エネルギー学習施設」で大規模な太陽光発電の様子を見学しました。古紙や金属製品などがどのように再資源化されているかや、太陽光発電の仕組みを学習し、限られた資源を大切にすることを意識するきっかけとなり、有意義な学習会となりました。

今年度の環境部活動は、町民のみなさまのご協力により無事終了することができました。

来年度も、町民の皆さまとともに、住みよい街づくりに向け、

環境美化活動の一層の推進に努めていきたいと思っています。

(部長 土山和俊)

平成二十九年 主な活動

・春秋の一斉清掃
・賀露海岸、湖山川河岸の清掃
・環境学習
・町内ごみステーション点検
・公民館祭活動パネル出展



海岸一斉清掃

婦 人 会

桜の成長に願いを込めて！

賀露婦人会は、今年度も、会員同士の親睦、地域との繋がりを大切に活動を行いました。

婦人会活動の一つに、募金への協力がありますが、緑の募金も、毎年各区の婦人会より協力頂き、長年続けています。

この緑の募金の還元として、今年度、「女性の森グループ」より賀露婦人会へ、五本の大島桜の苗木を頂く事になりました。早速、自治会さんやまちづくり協議会で協議して頂いた結果、まちづくり協議会の活動として、明神広場に植樹するという良いお話に決まりました。

今年度の活動の終了後で急に決まったお話でしたので、婦人会会員の皆さんにお知らせする間もなく、十二月二十四日に各区婦人会の三役の中から参加可能な方と自治会さん、公民館、まちづくり協議会の役員さんに参加頂き、五本の桜を植樹する事が出来ました。

春以降、水やりや肥料等の手入れが大変ですが、婦人会はもとよりまちづくり協議会の皆さん



大きく育ちますよう

《平成二十九年 度 役 員》

活動参加

・ 湖東グリーンゾーン

会 長 油谷都々江

副会長 岸 照野

会 計 山根 陽子

中村 恭子

油谷会長は本年度をもち退任されました。ありがとうございました。

んにご協力頂き、五本とも根付き花を咲かせ、次の世代また次の世代へと受け継がれ、楽しんでもらえるようになれば嬉しく思います。婦人会活動もこの桜の木の成長と一緒に、末永く継続していけばと願っています。

(会長 油谷都々江)

《平成二十九年 度 主 な 活 動》

- ・ 役員研修 但馬方面 六月
- ・ 役員研修 物作り体験 九月
- ・ 第三十九回公民館祭協力 十月
- ・ 会員研修防災研修会 十一月
- ・ 《平成二十九年 度 各 部 の 活 動》
- ・ おはぎ配食サービス 九月
- ・ 生活部研修会 十一月
- ・ 古紙回収 四・八・十二月
- ・ 環境部研修会 十一月
- ・ 貝がら節踊り練習 五月
- ・ 校区民運動会参加協力 五月
- ・ 会員研修 女性体操 九月
- ・ 市民体育祭 参加協力 十月
- ・ おやつ作り 六月
- ・ 町内駅伝大会協力 十月

体 育 会

平成二十九年 度 の 活 動 報 告

一年は早いものです。地区大会は、三月より始まり、十二種目を各区単位で争います。また、市民体育祭は五月から始まり、十月の体育の日まで十三種目を校区単位で争います。

二十九年度の成績は以下の通りです。本年もまた鳥取市消防操法大会があり、運動会を例年の六月第一週をかね五月二十八日に行いました。たくさんの方の参加ご苦労様でした。

また、今年は駅伝が雨のため中止となり、残念でした。市民体育祭においては残念ながら入賞を逃してしまいました。ただ若返りが出来、これからが楽し

みなチーム作りが出来ました。復活賀露は目の前に迫っています。ご期待を。地区大会は四区が町内一丸となって選手集めし、総合優勝を勝ち取りました。新しく社会人になられ初めて参加していただいた皆さん、また他校区より来られ参加していただいた皆さん有難うございました。

(美川裕教)

《平成二十九年 度 役 員》

- 会 長 島谷 龍司
- 副会長 美川 裕教
- 理事 長 西村 毅
- 事務局長 伏野 久
- 監 事 米田 悦男
- 林 克彦
- 竹野 義昭



校区民運動会



市民体育祭 ゲートボール第三位

市民体育祭成績 総合成績 (Aグループ)

優勝	美保	3位	岩倉
2位	浜坂	7位	賀露

◎男子バレー(優勝) ◎陸上(2位) ◎水泳(2位)
◎軟式野球(3位) ◎ゲートボール(3位)

地区大会総合成績

本年度総合順位		地区大会優勝区			
優勝	4区	バスケットボール	8区	グラウンドゴルフ	7区
2位	6区	卓球	4区	野球	6区
3位	1区	バドミントン	6区	綱引き	4区
		バレーボール	6区	水泳	6区
		ソフトボール	4区	ソフトテニス	1区
		ゲートボール	7区	駅伝	中止

駐在所より

安全・安心すばらしい「かろ」をめざして

賀露駐在所 渡部 郁朗



日頃より、警察活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

賀露駐在所管内の交通事故

	昨年	一昨年
死亡事故	1 件	0 件
人身事故	11 件	18 件
物損事故	334 件	356 件

人身、物損とも減少しましたが、死亡事故が一件発生しています。

「まず止まる！ そして安全確認！」を合言葉に交通事故を防ぎましょう。

また、県下において高齢者を対象としたオレオレ詐欺や還付金詐欺が後をたたず、さらにはアダルトサイト等の未納料金があるとコンビニ等で販売されている電子マネーを騙し取る架空請求詐欺が激増しています。不審な電話には留守番電話で対応し、不審なメールは無視しましょう。「絶対騙されない！」を合言葉に特殊詐欺を防ぎましょう。

一日一回は家族みんなで犯罪や事故の防止について話し合い、安全安心な「かろ」をめざしましょう。

安全安心な「賀露」をめざし、皆様のご協力をお願いします。

健康づくり推進員会

みんなで伸ばそう健康寿命！

◎受動喫煙を防ぎましょう

タバコの煙は、呼吸器や循環器、消化器などに、さまざまな病気を引き起こすことが分かっています。受動喫煙による健康被害も大きく、近年は、息切れ、咳、痰などの症状がでる慢性閉塞性肺疾患(COPD)が増加しています。

国立がんセンターは、受動喫煙は「迷惑や思いやりの問題」ではなく、「健康被害、他者への危害の問題」と断じています。各区公民館などでの集まりの際には、意識を高くもって、タバコのリスクを減らすよう努めていきましょう。

（会長 石黒幸子）
《平成二十九年度主な活動報告》

- 。新年度総会 三月
- 。健康ウォーク 五月
- 。湖山公園（参加七十名） 五月
- 。校区民大運動会 五月
- 。しゃんしゃん体操に参加 七月
- 。健康講演会 「病気になるない体づくり」 七月
- 。健康指導士 影日伴美先生（参加九十一名） 七月
- 。海岸清掃 七月
- 。健康講座「腰痛・膝痛とうまくつきあう方法」 九月

理学療法士 山根伸亮先生

（参加三十一名）

。湖東ブロック研修会 十月

「運動による健康づくり」

。湖山西公民館にて

。公民館祭「健康ひろば」 十月

骨密度・体組成・足指力・乳がんモデル触診体験・保健師による健康相談など（参加八十三名）

。ニューススポーツ交流会 十一月
 昼食づくり

。集団検診 十一月

。国保特定健診・肺がん・大腸がん（参加七十八名）

。市民健康ウォーク 十一月

。つづらお城跡周辺

。鳥取市民健康ひろば 十一月

。鳥取市民会館

。健推員研修会 十二月

「健診の種類と受け方」

尾崎病院にて

。国保特定健診結果説明会 十二月

（参加八名）

。料理講習会 一月

「災害時の食事」



健康講座（腰痛・膝痛とうまくつきあう方法）

消防団

夜間訓練 自然の脅威

平成二十九年八月五日、港町において夜間訓練が行われました。湖山消防署と近隣の消防団が夜暗く見通しが悪い中、港に停泊中の船舶から出火し周囲の船舶にも延焼するという想定で、十四隊が連携し消火に当たるという訓練です。途中ホース破損等のトラブルが発生しましたが、大過なく終ることが出来ました。訓練を通して情報の伝達、共有の大切さを再認識させられる訓練となりました。

賀露文化保存会

賀露文化保存会は、今年も賀露神社と共催で、県埋蔵文化財センターの出前講座を昨年十一月に開催致しました。

「青谷横木遺跡の発掘調査の成果」のテーマで、同センター文化財係長、下江健太先生から、鳥取西道路建設に関わる発掘遺跡の様子をスライドを見ながら学習致しました。

●女子群像を描いた板絵の発見

「飛鳥美人」と称される国宝高松塚古墳壁画に次ぐ国内二例目となる「女子群像」の発見

近年、自然現象の勢力の拡大に伴う災害発生で年々被害が大きくなっていくように感じます。

又、大規模地震発生も懸念され、賀露地区では住宅密集地が多く、火災発生時に消防自動車が出動へ近付きにくく被害拡大の恐れもあります。消防団としましても地域住民の皆様に協力頂きながら災害に対する備え意識を高めて防災、減災に努めてまいりたいと思います。併せて地域防災のため一緒に活動して頂ける消防団員も募集しています。お近くの地区長、消防団員にご連絡ください。

《平成三十年度 活動予定》

（清水利雄）

一月 消防出初め式

三月 春の火災予防運動

四月 新入団員入団式・研修

六月 鳥取市消防操法大会

七月 水防訓練

九月 鳥取市防災訓練

十一月 秋の火災予防運動

十二月 年末警戒

《平成三十年度 役員》

分団長 清水 利雄

副分団長 網師 信男

部長 網田 鉄也



です。この板絵は、飛鳥時代、七（八世紀）ころの製作と考えられ、女性の髪は頭の後ろで結ばれ、当時、最新のヘアスタイルであったようで、団扇や払子を持つているようで、中国や朝鮮半島と文化交流がわかるものです。

●古代山陰道に側溝と街路樹

古代山陰道の発見で、道幅が八メートルもあり、国内で初めての柳の街路樹が植えられ、盛り土には枯葉を敷き、排水などの機能を高める高度な土木技術が用いられていることとです。

●木製祭祀具が二万点出土



古代山陰道とみられる大規模な道路遺構（北西から撮影）

出土の木簡は八十点を越え、「天慶十年」（九四七年）と墨書された木簡もあり、正税や出挙、稲刈りの人数や稲の品種が書かれた種子札など、多岐に亘っているようです。

*わが郷土・賀露にも古い遺跡が眠っているかも知れません。

交通安全

つくるつよ 事故なし 笑顔の鳥取県

交通事故は、地域住民の生命や財産に大きな影響を与えるものであります。

平成二十八年三月に作成された第十次交通安全基本計画において、日本政府は、「人優先」の交通安全思想のもと、「平成三十二年までに二十四時間死者数を二、五〇〇人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」という目標を掲げました。

平成二十九年十二月現在、鳥取県内の人身事故発生件数は、九六五件(前年同月比▲二十二件)であります。死者数は二十六人(同十九人)となっております。

近年、国内外において、自動車のブレーキアシストなどの安全技術の導入や、自動運転に関する技術開発が進展しておりますが、更に

交通事故防止を図るためには、地域の皆様方の日頃の交通安全に対する意識の向上が不可欠であります。

これまで諸先



交通安全講習会(腹話術とDVD)

輩方が、取り組まれてこられたご努力に敬意を払いながら、今後も関係機関・団体等と共に、交通安全対策に取り組んでまいります。皆様方のより一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(支部長 雲坂 衛)

平成二十九年 主な活動

○春・夏・秋 年末交通安全運動開始式・パレード参加○期間中のミニパトカーでの町内巡回、のぼり旗掲揚○違法駐車等の夜間パトロール○朝のシートベルト、チャイルドシートの街頭指導○わたったいな広場での交通安全啓発活動○自転車マナーアップ・自転車保険加入促進街頭広報○交通安全講習会(賀露地区老人クラブ連合会、賀露保育園、賀露みどり保育園)○通学路でのあいさつ運動○各区役員による道路の安全点検見回り○足型・白線の塗り直し○高齢者自転車鳥取地区大会参加○交通整理(公民館祭・健康ウォーク・湖東グリーンゾーン二十周年事業)○支部リーダー合同研修会参加

◎市政功労者表彰

交通安全功労 羽田野晴久

◎平成二十九年 役員

支部長 雲坂 衛
副支部長 古網多賀司
島田 晴彦 石黒 正男

鳥取・賀露みなとオアシス

港湾協力団体に指定

国土交通省港湾局は、官民連携による港湾の管理や有効活用を促進するため、平成二十八年年度に「港湾協力団体の指定制度」を創設。

「鳥取・賀露みなとオアシス」も今までの実績が評価され協力団体の指定を受けた。

平成二十九年十一月二十九日、港湾管理者である平井伸治鳥取県知事より、古網多賀司会長に指定証が交付された。

平井知事は「長年、鳥取港周

賀露みなと観光協会

賀露の発展を想う

今年度は、七月には、「白い祭り」を開催しました。白い祭りに漁師さんとの協力で、いか漁の説明や湾内を一周したりと大好評を得ました。

七・八月は、「サンセットクルージング」の運航と「海水浴場」の開設、十一月は、冬の味覚の王者松葉がにの「かに祭り」への出店を行いました。

平成三十年、鳥取砂丘コナン空港賀露線の開通に伴い賀露地区がますます活気を帯びて

辺を利用して賑わいと交流の場を提供する事業を実施されてきたが、今後も地域振興のため協力と連携をお願いしたい。」との言葉をいただいた。

これからの賀露町の町づくりに寄与できるよう微力ながら活動していきたい。

平成二十九年 活動

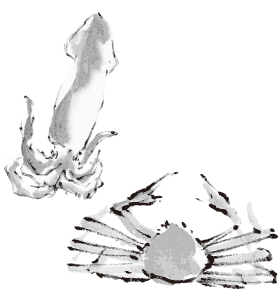
四月・レインボー入港協力
・湖山池めぐり
五月・鳥取港発着クルージング
七月・鳥取賀露みなとオアシス 夏まつり二〇一七
・「賀露白いか祭り」協力
・潮風を受けてカヌー体験

いくことと思います。

(会長 山田哲彦)

平成二十九年 主な活動

○地魚の普及活動及びイベント出店○白いか祭り開催○サンセットクルージング運航○賀露みなと海水浴場開設○かに祭り協力出店○県外PR○海岸清掃



八月・ヨットクルージング
十月・クルーズ客船寄港協力
十一月・魚イルミネーション
かにつこ館に設置
年間・港周辺の清掃活動



平井知事から指定証を受けとる古網会長



食育推進員会

家庭からはじまる食育の輪

鳥取市の健康状態は、二人に一人が血糖値が高め!!だそうです。私たち食育では、皆様の健康維持に役立てて頂きたく、塩分の減らし方や糖尿病予防食などの伝達を行っています。

また、家族で食卓を囲むことで孤食・個食・固食などをなくし、食の楽しさ、食の大切さを知り、食事のマナーを習慣として身に付けることが出来ることも伝えていきます。

そして、今年度は、災害時の伝達も加わりました。包丁いらず、まな板いらずの調理方法や、洗い物を少なくする工夫なども伝達しました。

伝達メニュー

◎バランス食で健康に



みんなで作ろう(小学生) レッツ・クッキング

(豚肉となすの南蛮だれ)
◎レッツ・クッキング

(夏野菜たっぷりカレー)

◎災害に備えたメニュー

(サバみそ缶の野菜炒め)

からっこ塾や小学校の米料理では、子どもたちに、料理を作る楽しさと大変さを感じてもらおうことで、「いただきます。ごちそうさま。」の感謝の気持ちを忘れないことも伝えられたいと思います。

これからも、皆様の健康に役立つ料理や、調理方法などを伝達して参りますので、一人でも多くの方の伝達講習会への参加を、お待ちしております。

(会長 外山照野)

《平成二十九年 主な活動》

◎伝達講習(十回 延べ二三七人)

◎からっこ塾

・昼食お手伝い 二日間

・夏野菜たっぷりカレー伝達

◎公民館祭(試食会)

・大豆と小松菜の炊き込みご飯

◎ニュースポーツ世代間交流会

・昼食(おにぎりとお汁)

◎むつみ会研修

・若桜方面(みそ作り)

◎小学校米料理

・中ノ郷小学校 一回

・賀露小学校 二回

《平成二十九年 役員》

会長 外山 照野

会計 小林 真紀

賀露地区人権啓発推進協議会

倉吉市上米積地区を訪ねて

被差別部落の歴史と現状、今なお深刻な差別の現状を理解し、差別解消へ向け身の回りの人権問題を考えるを目的に、倉吉方面へ出かけ研修した。

最初に倉吉さわやか人権文化センターで倉吉市人権局の下吉真二さんに「部落差別解消法の制定と今後の課題」についてお聞きした。下吉さんは「今はあからさまな差別は見えにくくなっているが、より深刻な問題となっている。最近はいん

ターネットを使って同和地区や氏名、住所が全世界に公開されている。」と話された。差別は時代とともに変化して私たちの社会に存在していることを知った。また、差別の現実と問題点を知り、解決に向けて考えることは大切であると学んだ。

次に、急傾斜地崩壊防止対策事業や農地基盤整備事業について学んだ後、上米積地区を案内していただいた。かつて急傾斜地におかれた地区の名残を感じながら、当時のみなさんの熱心な運動によって同和対策事業が行われ、整備されていった現状を見た。帰りに児童



上米積地区視察

《平成二十九年 役員》

会長 山根一記

副会長 深澤修一

推進員 濱中千景・網師かよ子

泡田秀美・森原すみ子

湖東中学校

地域とのつながりを

大切にしている学校

生徒指導主事 平本 光利

本年度「夢と志を持ち、その実現へ向け 見通しを持って今を充実して生きる」を教育目標に、全ての教育活動に取り組んでいます。

湖東中学校生徒会は「地域とのつながり」を重視した活動を行っています。率先して地域に出かけることで、地域を大切にする心を育み、地域から愛される湖東中を目指しています。本

年度は、地域運動会への選手・補助員としての参加、部活単位での地域の清掃活動への参加、地域のゴミを0に〇計画」と題して登下校時にゴミ拾いをするといった取り組みを行いました。そして、特にあいさつ運動には力を入れており、生徒全員の思いをもとに作成した『湖東中あいさつ宣言』を柱に、クラス、部活単位でのあいさつ運動や地域のあいさつ運動への参加、校区各小学校へ出かけ、朝のあいさつ運動を行いました。生徒はあいさつが日常的に飛び交う学校、地域づくりを目指しています。

今後も、あたたかい人間関係を基盤に、相互のコミュニケーションを大切に、助け合い、高め合える学校、街づくりを推進していきます。これから家庭、地域の皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



地区運動会の様子

子ども助成会

一年間の活動を振り返って

子ども助成会では、皆様の協力を得ながら、子ども達の健全育成・健康で明るい『まちづくり』に寄与することを心がけ、活動を展開してきました。

二月には、六年生を送る会をボーリング場で行いました。ゲームがはじまる前から、同窓会のような雰囲気です。『ワイワイ、ガヤガヤ』と賑やかに行われ、六年生は、小学校生活の良い思い出になったと思います。主催者側も達成感のある行事でした。

六月には、小学校の先生にも協力して頂きながら古紙回収を行いました。各区から多くの新聞紙や空き缶等が、収集場所の賀露漁港へ持ち込まれ、先生、保護者が汗をかきながら、トラックに積み込みました。このような『ごみにしないでリサイクルする活動』や『賀露海岸一斉清掃』を通じて、リサイクル、

環境問題について考えるきっかけになったと思います。

九月には、賀露神社において『秋祭り奉納相撲』を行いました。ここ近年、参加者が少なく個人戦だけですが、上級生同士の取組みになると、観客を魅了する取組もありました。伝統行事等を絶やさず継承していく事が、改めて大切だと思いました。

十月には、公民館祭へ協力しました。今回は、プラバンキーホルダー作りとポップコーンで参加し、子どもたちに好評で大盛況のうちに終わりました。

十一月には、まちづくり協議会の『いっしょにあそばあや』を他団体との協力で行いました。高齢者の方と一緒にニュースポーツを楽しみ、お昼ご飯を食べながらの会話等、とても楽しく世代間交流ができました。

今後も子ども達の健全育成、健康で明るい『まちづくり』を常に心がけ、活動していきたいと思っています。(文責 田中正広)

平成二十九年 主な活動

○六年生を送る会・古紙回収
○海岸清掃・秋祭り奉納相撲大会・公民館祭・世代間交流

平成二十九年 役員

会 長 田中 正広
副会長 藤田 知子
今嶋 裕子
事務局長 濱口 真弓

秋祭り奉納相撲



賀露小学校

賀露健児の自治力！

賀露小学校校長 岸本 順一

「自治力の向上」

「全員参加の授業づくり」
本年度、賀露小学校全職員が全力で取り組んできた二本柱です。

まずは、「自治力の向上」についてです。本年度は、「リーダーの育成」による「自治力の向上」を目指し、近年初めて全校で選挙を行い、児童会長をはじめとする執行部を結成しました。執行部を中心に代表委員会や集会活動等、児童会活動の活性化を図ると共に、学級ごとに前期・後期それぞれの「学級リーダー」を選出し、一人一人に任命書を手渡すことでリーダーとしての自覚を促しました。

次に、「全員参加の授業づくり」についてです。教員一同、日々、子どもたちの学力向上を願い、精一杯の準備を整えて授業に臨むのですが、中には授業に興味をもてなかったり、集中力が続かなかつたりする子どもたちが見受けられるというのが実態です。どうすれば、このような子どもたちにも興味をもたせ、「やってみたい」と思わせる授業、「わかった、できた」という喜びを味わうことので

きる授業、「みんなで一生懸命考えることが楽しい」と思えるような授業を展開することができたのか、全職員で研究を進めてきました。具体的には、本年度、文部科学省の人権教育研究指定校事業を受け、「ユニバーサルデザイン」の授業づくりの研究に取り組みました。「ユニバーサルデザイン」とは、「困難を抱えている人にとって生活しやすい状態は、他のすべての人にとっても生活しやすい状態である」という福祉の考え方が基盤となっており、その考え方を授業づくりに応用したものです。日々の授業において、どのような準備や展開、仕掛けをすれば、全員が参加でき、「わかった、できた、うれしい、楽しい」と思える授業になるのかについて日々研究し、実践を進めてきました。

と子どもたちに呼びかけました。その結果、執行部を中心に、全校で楽しむ「チャレンジランキング集会」が企画・実施され、大いに盛り上がりました。この他にも、なかよし班による「お楽しみビンゴ大会」等、「子ども発」のイベントが次々と実施されました。このような経験を通して、子どもたちは、満足感・達成感を味わうことができたと思います。あわせて、こうした楽しいイベントを成功させるためには、参加する一人一人がきちんとルールを守ることやそれぞれの役割をしっかりと果たし、協力し合うことが必要であることにも気づいてくれたように思います。

さて、最後にお願いを一つ。これまでも地域の皆様には多大なご支援をいただいておりますが、来年度は、コミュニケーション・スクール(学校運営協議会)を立ち上げ、これまで以上に一層踏み込んだ形で、学校運営にご参画いただきたく考えています。何卒、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



近年初の児童会選挙

賀露保育園

「賀露・だいすき」

賀露保育園園長 西田智恵子

海があり少し行くとイオン北店があり町のように自然もいっぱい賀露。この素敵な賀露地域の中で地域の方に見守られ、支えられ愛されて子どもたちはすくすくと育っています。

今年はいろいろなところから声をかけていただき地域のイベントに出演させていただきました。四月はレインボージェット記念行事に参加し、たぐさんのお客さまに手を振りお見送りしました。かろいわったいな創業祭では「わったいな歌」を披露しました。県民の日「フェア」ではイオン北店でたぐさんのお客様の前で「ガイナマンと一緒に「ガイナマン体操」を踊りました。ちょっとはずかしかったけど頑張りました。クルーズ客船歓送迎行事では運動会でも頑張った竹太鼓を披露しました。船にも乗ってみました。

テレビにもたくさん出演しました。NCNピットステーション「げんきッズ」ではかわいいこどもたちの姿がテレビから流れてきました。「ガイナ

マン体操」はユーチューブにも発信されました。元気いっぱい賀露のこどもたちの姿をいろいろな方法で皆さんに見ていただく良い機会となりました。

「賀露はこんないいところだよ」「僕たちがこれから育っていく賀露だよ」「みんなよろしくね」という思いを込めて賀露保育園をアピールできたかなと思います。地域の皆さんはいつでもこどもたちに温かい声をかけてくださいます。子育てに一生懸命で協力的な保護者の皆さんに囲まれ、こんな素敵な賀露で育ち、大人になっても地域を盛り上げ地域が誇れる大人になってほしいと願っています。これからも保育園だいです。賀露だいすきと故郷を愛する心を育てていきたいと思っています。



かろいわったいな創業祭で

賀露みどり保育園

「賀露みどり保育園の魅力」
「支えあう絆」

保護者会長 宮本 徳仁

保育園の行事ってどんな事をしているのだろうか?と思われる方もおられると思います。年間の行事を通して賀露みどり保育園の魅力をお伝え出来ればと思います。

年間行事として五月に親子遠足での親子のふれあい、賀露校区民運動会への参加で、賀露保育園さんと協力した演技を披露しました。七月の夕涼み会では、『貝殻節』を地域の方から学び、みんなで踊って賀露地域の伝統芸能に携わりました。十

月での運動会では春から少し成長した姿が見られ、友達と協力した演技を披露し、十二月には生活発表会を行い、可愛いダンスや堂々としたセリフでみんなとひとつの劇という作品を作りました。そして、二月に特に力を入れている『音楽』を一年間の集大成として他の園にはない音楽発表会が行われました。とても緊張感があり子供達も普段見せない顔をしているのも魅力です。

その他にも、鳥取市内九つの私立保育園による連合会行事への参加を行い、他の園との交流、親睦を深めています。また、今年度初の試みとして畑でのラッキョウ作り、収穫を行い、貴重な経験を行いました。

こうして一年間を振り返ってみるとすべての行事において、地域の皆様を初め、他の園の方々、先生、園児、保護者との支えあいで行われており、深い絆が結ばれているのだと思います。今後とも皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。



クラス対抗綱ひき

小学校教育振興会

明るい地域社会を目指して

平成二十九年度は「生徒の自立と責任感」に重点を置き、取り組んでまいりました。まず、

数年ぶりに児童会を復活し、児童会長を選出。選挙にて選出しましたが、立候補の子は全校児童会の際に、児童自身が何をやりたいか訴えました。そのような事から自立性を持ち、児童たちが自分の手で児童会を運営し、

自立と責任感を養うものです。今までは、先生主導による児童会運営でしたが、今年一年である程度の手応え、方向性が見えた事は大きな収穫です。今後は在校児童達を中心に、先生たちとともに、もう一段階上の児童会活動を運営していく事と思っています。

《平成二十九年度役員》

会長 濱橋 利英

副会長 西本 真司 葛尾 和久

加藤 昭義 松本 大



学習発表会

学年生活委員長 網田小百合
保健体育委員長 岩見 智
広報委員長 清水 伊代
人権教育推進委員長 大西 真弓
地区理事長 福田 千恵

集い学びつなぐる公民館

親子教室三十周年記念事業

昭和六十三年より青少年健全育成を目的に親子教室が開講し、今年で三十周年を迎えました。記念として子育て研修会、家庭は心の根っこになる「県教育委員会大高美穂子先生のお話とわらべコンサート(西岡・三好先生)を賀露保育園にて約二百人が楽しみました。

教室活動では、子育てのヒントを取り入れながら、さまざまな体験を親子で安心して楽しめる事業展開を心がけています。近年は夫婦での参加も増え子育ての関心の高さを感じます。この教室を通して、親子の絆を築ききっかけづくり、また親同士の交流を深めながら、地域参画へと拡がっていくことを希望しています。今後も、親子教室を継続し、子育て親育てを応援していきます。



11/1 親子教室30周年記念事業

参加者感想

これから共に育っていく地域の同世代の子ども達。地域の皆さんと0歳児から、公民館で一緒に時間を過ごし、成長をお互い見守る関係を築けて、これからの大きな財産になると想いました。(Yママ)



第39回

公民館祭

郷土芸術展

キルト展「布あそび」

大江貴美子さん「区一針ごとに想いの込められた色とりどりのキルト作品の数々。大勢の皆さんに、布と糸の温もりを感じて頂きました。

幼児教室 年間22回程度



端午の節句

乳児教室 年間17回程度



大きくなったかな

研修会から

毎日少しだけで充分。子どもと向き合う時間をもちましよう。子どもは安心感を抱き自尊感情を育みます。そして親の頑張っている姿をみせましよう。

お茶つ子クラブ十周年

青少年健全育成を目的に米澤洋子先生指導で、小学生対象にお稽古が開設され十周年を迎えました。茶道を通して礼儀作法、豊かな心を養っています。十周年を記念して、公民館祭で記念茶会を開催。心を込めてもてなし、皆さまに喜んで頂きました。また、県中部地震の被災者支援のチャリティー茶会を開催。お寄せ頂いた浄財は、県へ寄付し平井知事より感謝状をいただきました。



清涼茶会(6/11)

参加者感想

いつもよりも気を引きしめて、にやけずにできて良かったと思います。

公民館活動を振り返って

賀露公民館長 山根 一記

この一年の公民館活動を振り返ってみますと、平成二十九年度は三つの事業が節目を迎え、これまでの事業の振り返りと今後の活動内容を改めて考える良い機会となりました。

まず、子どもたちの健やかな成長を願って特色ある公民館活動の主要な事業として位置づけている親子教室が三十周年を迎え、賀露保育園でミニ講演とわらべコンサートなど盛大に記念事業を展開しました。

また湖東グリーンゾーン賀露支部の活動が二十周年を迎え、公民館祭の折りに、地区体育館において記念式典を開催しました。

さらにお茶つ子クラブが十周年を迎え、公民館祭において記念事業として「十年間の思い出」を展示する中で、お抹茶コーナーを開催し大変好評を博しました。

その他公民館事業では、第一回の「故郷を訪ねて」は、三朝・倉吉方面に「三朝の歴史と復興倉吉」と題して、三朝バイオリン美術館や倉吉未来中心を見学しました。また第二回の「故郷を訪ねて」は、人権・現地視察研修を兼ねて、長い部落解放運動の闘いから全国に先がけ急傾斜地崩壊防止対策事業が行われた倉吉市上米積地区を見学すると共に、震災後の白

壁土蔵群(赤瓦)の復興状況を視察しました。

また「元気で明るい賀露健児」の育成に向けて、毎年夏・冬に「かろっこ塾」を実施していますが、夏期は今回も参加者それぞれに創意工夫を凝らした木工と手芸作品を製作していただきました。また冬期は国際交流事業を兼ねてインドネシア、韓国、ベトナムの方々を迎え、楽しく風づくりと餅つきに挑戦していただきました。公民館祭や「かろっこ塾」など、年間を通じて沢山の地域の方々にご協力いただき、事業を展開することができました事、厚く感謝申し上げます。



風づくりともちつき de 国際交流 (人権啓発推進事業)



サークル からだ元気塾 開講